

I P C C : 第 5 次 報 告 書 (2 0 1 3 / 9 / 2 7 承 認)

出所：毎日新聞、朝日新聞ほか 2013年09月28日

[要 点]

今世紀末の、

気温は 0.3~4.8度 上昇 (過去実績 : 0.74度 (1906~2005) , 0.85度 (1880~2012)) 2度以内に抑えることは困難

海面は26~82センチ上昇 (2007 第4次では、18~59センチ)

大気中CO2濃度は1750年以降40%増加し、過去80万年で前例のない高さ。

◇人間が要因「95%以上」 (第4次では、90% 以上)

第5次報告書と第4次報告書の違い

	第4次(2007年)	第5次(2013年)
過去の気温上昇	0.74度 (1906~2005年)	0.85度 (1880~2012)
今世紀末の気温上昇予測	1.1度~6.4度	0.3度~4.8度
今世紀末の海面水位の上昇予測	18~59 cm	26~82 cm
温暖化は人間活動の結果かどうか	可能性が非常に高い(90%以上)	可能性が極めて高い(95%以上)
報告書本体のページ数	約1000ページ	約2000ページ

各作業部会報告書及び統合報告書の完成・発表予定時期は以下のとおり。

WG1報告書:2013年9月(今回)

WG2報告書:2014年3月

WG3報告書:2014年4月

統合報告書:2014年10月

世界の平均気温上昇の予測 概略図

